

北海道新幹線開業半年前の 関東・東北在住者に対する利用意向調査

大橋美幸

1. はじめに

3月に北海道新幹線が開業する。経済波及効果等の調査が行われており、利用意向については早期から各種の方法で調査が重ねられている。

2006年にインターネットによる全国アンケートが行われ、現在、北海道旅行のために主に飛行機を利用している人の4割が新幹線利用すると回答しており、埼玉以北の東北新幹線沿線地域で6割程度以上になっていた。新幹線利用の理由は、運賃が最も多く、乗り換えが楽、悪天候に左右されにくい の順であった。北海道新幹線を利用して訪れたい場所は、札幌、函館が半数を超え、小樽・倶知安・ニセコ、旭川・富良野・美瑛の順であった¹⁾。

2008年には函館を訪れた観光客に対する調査が行われ、3割が北海道新幹線開業後の函館再訪に新幹線を利用すると答えている。函館近郊の新幹線駅からの交通手段は7割が在来線鉄道であった²⁾。

2010年に埼玉県宇都宮と大宮の百貨店「北海道物産店」で行った調査では、8割が新幹線開業後に函館・道南地区を訪れる際に新幹線を利用すると答えており、半数が札幌・道央地区を訪れる際に函館まで新幹線を利用して在来線に乗り換えると答えていた^{3, 4)}。

2014年に函館を訪れた観光客に対する調査では、北海道新幹線開業後の函館再訪に東北の6割、北関東の4割、南関東及び中部以南の3割が新幹線を利用すると答えていた。なお、北海道新幹線の認知度は、東北・南関東・

北関東・中部以南のおおむね半数程度が開業予定時期を知っていたものの、函館近郊の新幹線駅の場所を知っていたのは東北・南関東・北関東・中部以南のおおむね2割であった⁵⁾。

2015年、開業10か月前の函館を訪れた観光客に対する調査では、2014年調査と変わらず、北海道新幹線開業後の函館再訪に東北の6割、北関東の4割、南関東及び中部以南の3割が新幹線を利用すると答えていた。なお、北海道新幹線の認知度は、東北の6割、北関東・南関東の5割、中部以南の3割が開業予定時期を知っており、函館近郊の新幹線駅の場所を知っていたのは、東北が3割、北関東・南関東2割、中部以南の1割。東北のみで認知度が上がっていた⁶⁾。

今回、北海道新幹線開業の半年前時点の利用意向を把握するため、東京、北関東、東北在住者の意識調査を行った。

2. 調査概要

2015年9月、東京池袋の百貨店、仙台の屋外フェスタにおいて、来場者アンケートを行った。

調査項目は、回答者基本属性（性別、年代、職業、居住地）、北海道新幹線開業の認知度、開業後の利用意向、北海道旅行への期待・行きたいところ、函館旅行の交通手段・開業後の交通手段の変化・理由等である。

居住地別に、東京都、北関東（栃木、茨城、群馬、埼玉）、東北地方に分けて分析を行った。

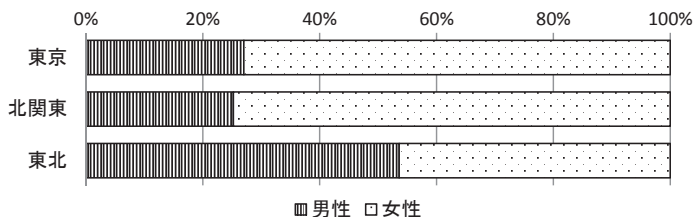
3. 回答者基本属性

回収数は、居住地別で東京407、北関東107、東北391、合計905。

東京は7割が女性であり、40代・50代・60代がそれぞれ2割である。29歳以下で特に男性が少ない。職業は専業主婦・無職が4割、会社員が3割である【図表1～4】。

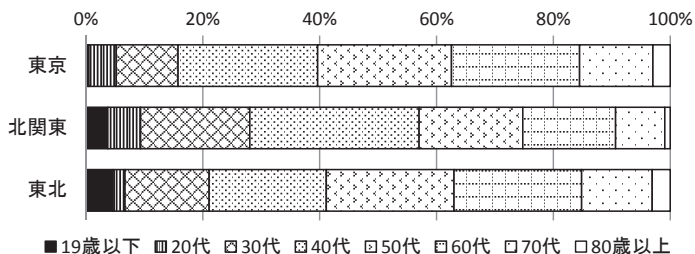
図表1 回答者基本属性（性別）

		居住地			合計
		東京	北関東	東北	
性別	男性	110	27	208	345
	女性	297	80	180	557
合計		407	107	388	902



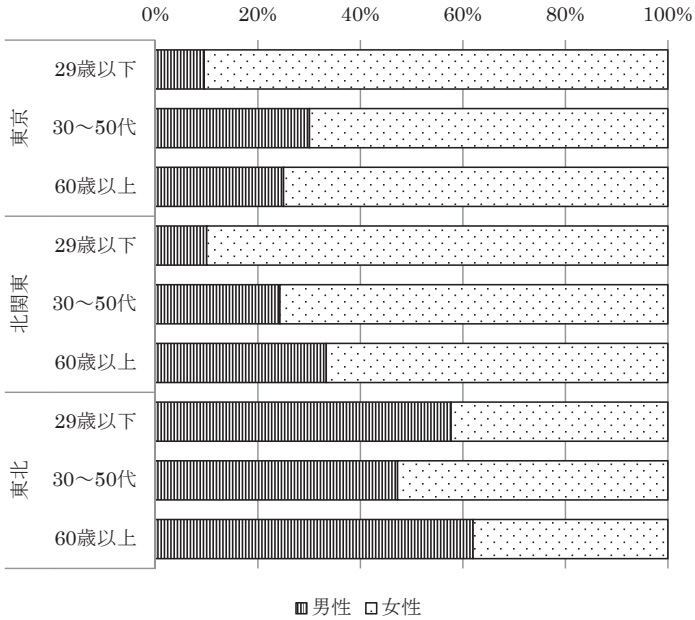
図表2 回答者基本属性（年代）

		居住地			合計
		東京	北関東	東北	
年代	19歳以下	2	4	18	24
	20代	19	6	8	33
	30代	43	20	56	119
	40代	97	31	78	206
	50代	93	19	85	197
	60代	89	17	85	191
	70代	51	9	47	107
	80歳以上	12	1	12	25
合計		406	107	389	902



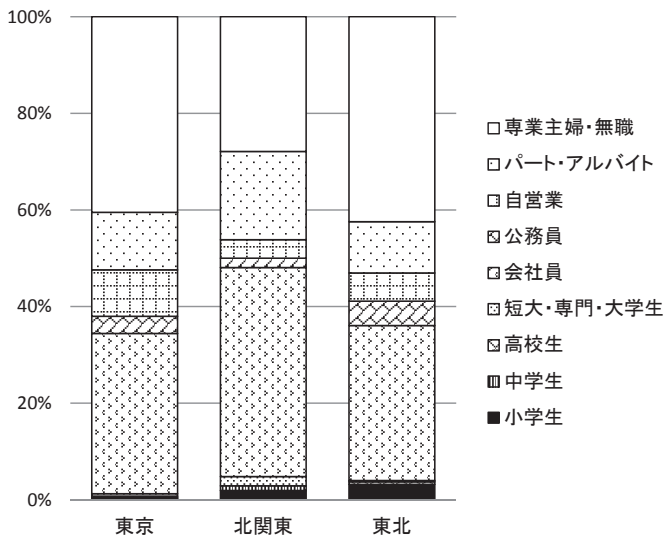
図表3 回答者基本属性 (年代別の性別)

		性別		合計
		男性	女性	
東京	29歳以下	2	19	21
	30～50代	70	163	233
	60歳以上	38	114	152
	計	110	296	406
北関東	29歳以下	1	9	10
	30～50代	17	53	70
	60歳以上	9	18	27
	計	27	80	107
東北	29歳以下	15	11	26
	30～50代	103	115	218
	60歳以上	88	54	142
	計	206	180	386



図表4 回答者基本属性（職業）

		居住地			合計
		東京	北関東	東北	
職業	小学生	1	2	12	15
	中学生	1	1	0	2
	高校生	1	0	2	3
	短大・専門・大学生	2	2	1	5
	会社員	131	45	121	297
	公務員	14	2	19	35
	自営業	38	4	22	64
	パート・アルバイト	47	19	40	106
	専業主婦・無職	160	29	160	349
	その他	11	2	12	25
合計		406	106	389	901



北関東は女性が3／4であり、40代が3割であり、30代と50代がそれぞれ2割である。29歳以下で特に男性が少ない。職業は会社員が4割、専業主婦・無職が3割である。

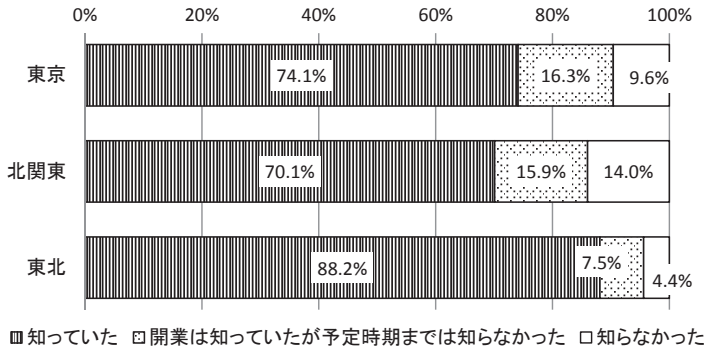
東北は男女半数ずつくらいであり、40代・50代・60代がそれぞれ2割である。年代によって性別に差は見られない。職業は専業主婦・無職が4割、会社員が3割である。

4. 北海道新幹線の認知度、利用意向

北海道新幹線開業時期の認知度は、東京は3／4、北関東は7割、東北は9割が知っている【図表5】。居住地別に男女を比べると、東京と北関東で男性の方がやや良く知っている【図表6】。年代を比べると29歳以下で知らない人が多くなっている【図表7】。

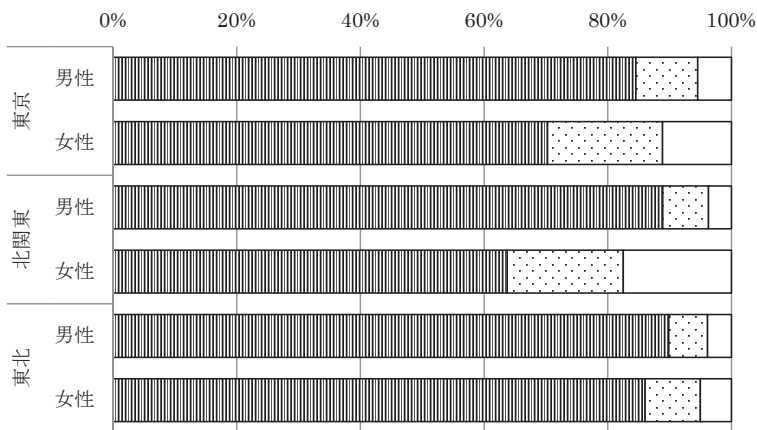
図表5 開業時期の認知度

		居住地			合計
		東京	北関東	東北	
開業時期の 認知度	知っていた	301	75	343	719
	開業は知っていたが予定 時期までは知らなかった	66	17	29	112
	知らなかった	39	15	17	71
合計		406	107	389	902



図表6 開業時期の認知度（男女別）

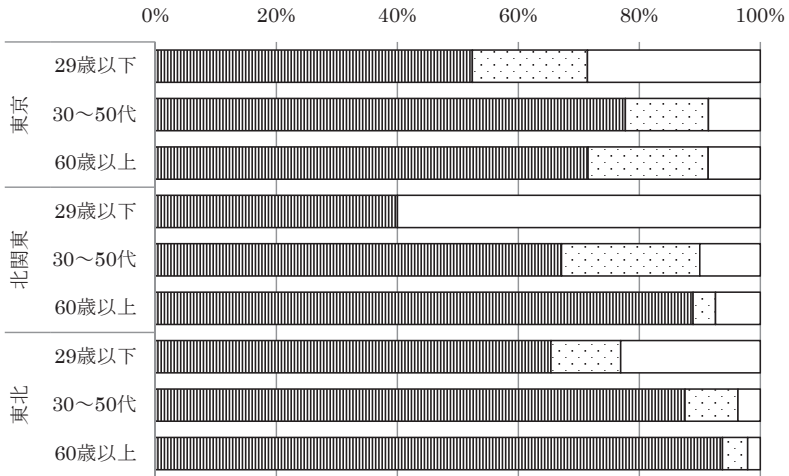
		開業時期の認知度			合計
		知っていた	開業は知っていたが予定時期までは知らなかった	知らなかった	
東京	男性	93	11	6	110
	女性	208	55	33	296
	計	301	66	39	406
北関東	男性	24	2	1	27
	女性	51	15	14	80
	計	75	17	15	107
東北	男性	186	13	8	207
	女性	154	16	9	179
	計	340	29	17	386



■ 知っていた □ 開業は知っていたが予定時期までは知らなかった □ 知らなかった

図表7 開業時期の認知度（年代別）

		開業時期の認知度			合計
		知っていた	開業は知っていたが予定時期までは知らなかった	知らなかった	
東京	29歳以下	11	4	6	21
	30～50代	181	32	20	233
	60歳以上	108	30	13	151
	計	300	66	39	405
北関東	29歳以下	4	0	6	10
	30～50代	47	16	7	70
	60歳以上	24	1	2	27
	計	75	17	15	107
東北	29歳以下	17	3	6	26
	30～50代	190	19	8	217
	60歳以上	135	6	3	144
	計	342	28	17	387

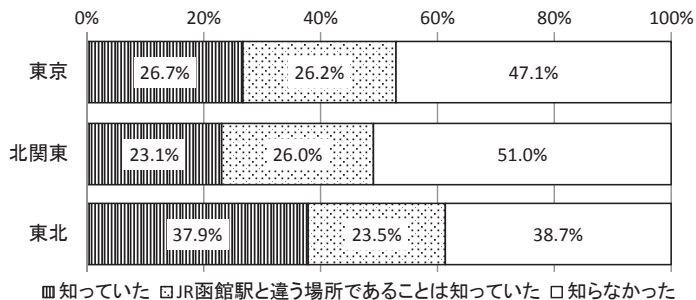


■ 知っていた □ 開業は知っていたが予定時期までは知らなかった □ 知らなかった

新函館北斗駅の場所の認知度は、東京と北関東は1／4、東北は4割近くが知っている【図表8】。居住地別に男女を比べると、東京、北関東、東北のいずれも男性の方がよく知っている【図表9】。年代を比べると大きな差は見られない【図表10】。

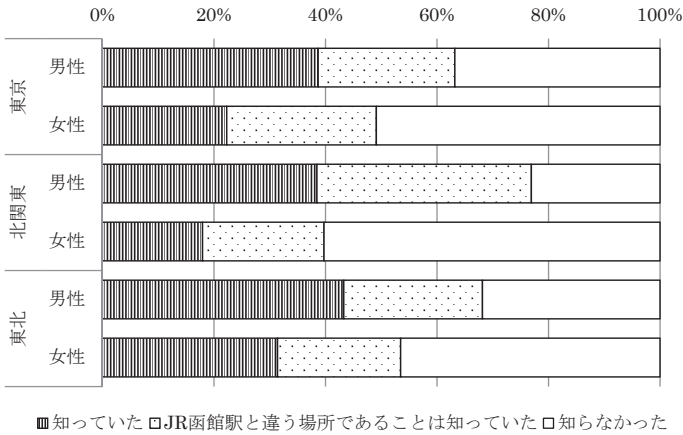
図表8 新函館北斗駅の場所の認知度

		居住地			合計
		東京	北関東	東北	
新函館北斗駅の場所の認知度	知っていた	105	24	142	271
	JR 函館駅と違う場所であることは知っていた	103	27	88	218
	知らなかった	185	53	145	383
合計		393	104	375	872



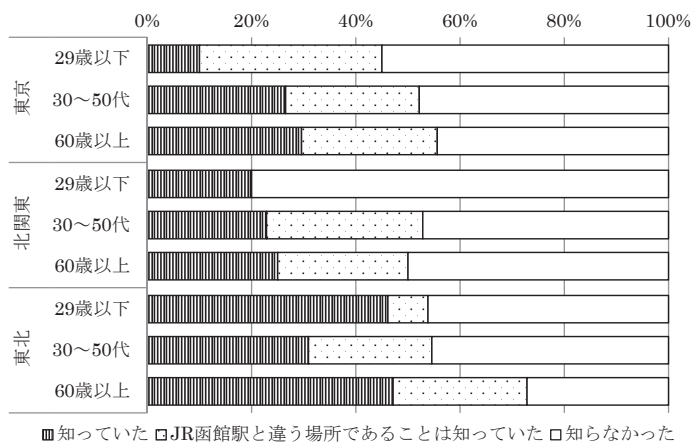
図表9 新函館北斗駅の場所の認知度（男女別）

		新函館北斗駅の場所の認知度			合計
		知っていた	JR 函館駅と違う場所であることは知っていた	知らなかった	
東京	男性	41	26	39	106
	女性	64	77	146	287
	計	105	103	185	393
北関東	男性	10	10	6	26
	女性	14	17	47	78
	計	24	27	53	104
東北	男性	87	50	64	201
	女性	54	38	80	172
	計	141	88	144	373



図表10 新函館北斗駅の場所の認知度（年代別）

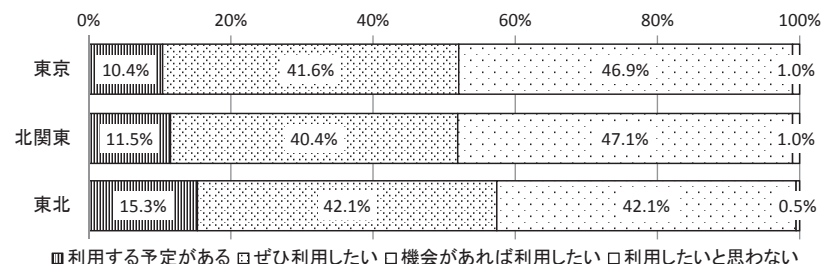
		新函館北斗駅の場所の認知度			合計
		知っていた	JR 函館駅と違う場所であることは知っていた	知らなかった	
東京	29歳以下	2	7	11	20
	30～50代	61	59	110	230
	60歳以上	42	37	63	142
	計	105	103	184	392
北関東	29歳以下	2	0	8	10
	30～50代	16	21	33	70
	60歳以上	6	6	12	24
	計	24	27	53	104
東北	29歳以下	12	2	12	26
	30～50代	64	49	94	207
	60歳以上	66	36	38	140
	計	142	87	144	373



北海道新幹線開業後の利用意向は「利用する予定がある」と「ぜひ利用したい」を合わせると、東京、北関東、東北ともに半数を超える【図表11】。居住地別に男女、年代を比べてもあまり差は見られない【図表12、13】。

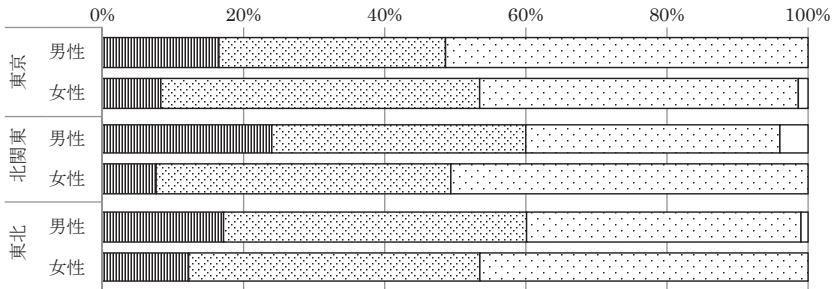
図表11 北海道新幹線の利用意向

北海道新幹線の利用意向	居住地			合計
	東京	北関東	東北	
利用する予定がある	42	12	57	111
ぜひ利用したい	166	42	157	365
機会があれば利用したい	187	49	157	393
利用したいと思わない	4	1	2	7
合計	399	104	373	876



図表12 北海道新幹線の利用意向（男女別）

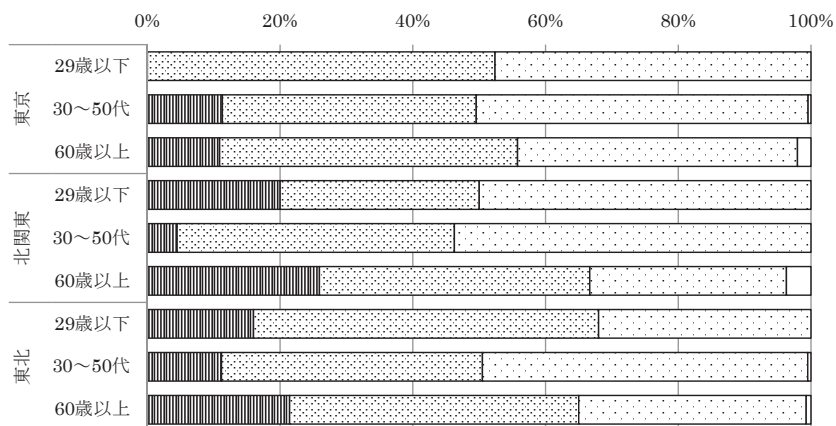
		利用意向				合計
		利用する予定がある	ぜひ利用したい	機会があれば利用したい	利用したいと思わない	
東京	男性	18	35	56	0	109
	女性	24	131	131	4	290
	計	42	166	187	4	399
北関東	男性	6	9	9	1	25
	女性	6	33	40	0	79
	計	12	42	49	1	104
東北	男性	34	85	77	2	198
	女性	21	71	80	0	172
	計	55	156	157	2	370



■ 利用する予定がある □ ぜひ利用したい □ 機会があれば利用したい □ 利用したいと思わない

図表13 北海道新幹線の利用意向（年代別）

		利用意向				合計
		利用する予定がある	ぜひ利用したい	機会があれば利用したい	利用したいと思わない	
東京	29歳以下	0	11	10	0	21
	30～50代	26	88	115	1	230
	60歳以上	16	66	62	3	147
	計	42	165	187	4	398
北関東	29歳以下	2	3	5	0	10
	30～50代	3	28	36	0	67
	60歳以上	7	11	8	1	27
	計	12	42	49	1	104
東北	29歳以下	4	13	8	0	25
	30～50代	23	81	101	1	206
	60歳以上	30	61	48	1	140
	計	57	155	157	2	371



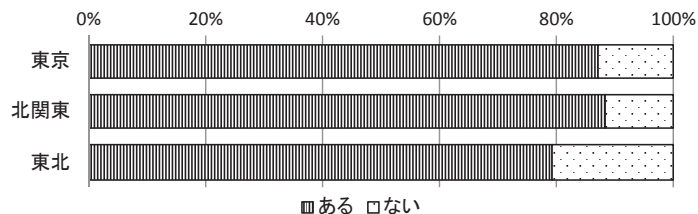
■利用する予定がある □ぜひ利用したい □機会があれば利用したい □利用したいと思わない

5. 北海道旅行に期待するもの、北海道新幹線を利用して行きたいところ

北海道に行った経験を尋ねると、東京と北関東は9割、東北の8割が北海道に行ったことがある【図表14】。居住地別に男女を比べても大きな差は見られない【図表15】。29歳以下で行ったことがない人がやや多い【図表16】。

図表14 北海道に行った経験

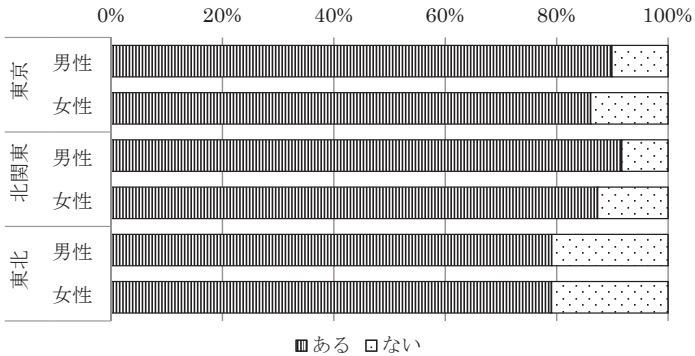
		居住地			合計
		東京	北関東	東北	
北海道に 行った経験	ある	352	91	298	741
	ない	52	12	78	142
合計		404	103	376	883



■ある □ない

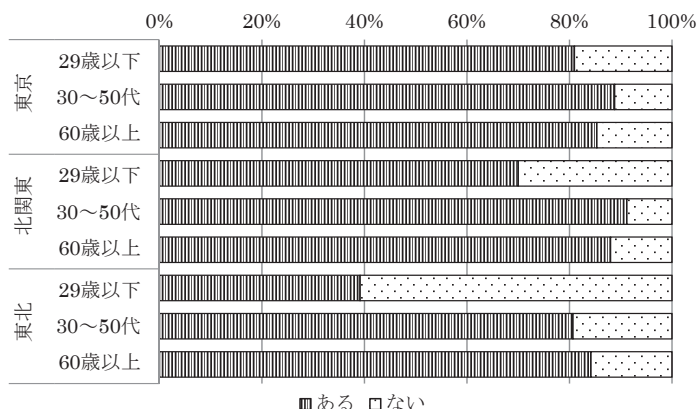
図表15 北海道に行った経験（男女別）

		北海道に行った経験		合計
		ある	ない	
東京	男性	98	11	109
	女性	254	41	295
	計	352	52	404
北関東	男性	22	2	24
	女性	69	10	79
	計	91	12	103
東北	男性	159	42	201
	女性	136	36	172
	計	295	78	373



図表16 北海道に行った経験（年代別）

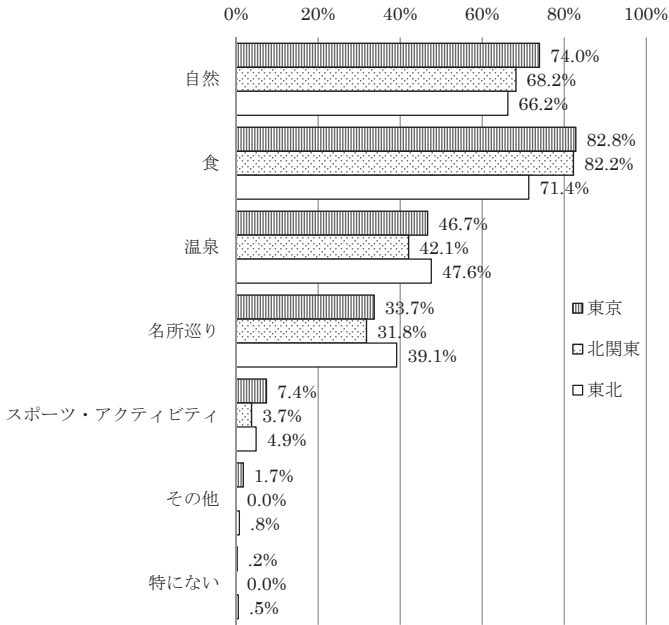
		北海道に行った経験		合計
		ある	ない	
東京	29歳以下	17	4	21
	30～50代	206	26	232
	60歳以上	128	22	150
	計	351	52	403
北関東	29歳以下	7	3	10
	30～50代	62	6	68
	60歳以上	22	3	25
	計	91	12	103
東北	29歳以下	9	14	23
	30～50代	171	41	212
	60歳以上	117	22	139
	計	297	77	374



北海道旅行に期待するものは、東京、北関東、東北のいずれも食が最も多く、自然、温泉、名所巡りが続く【図表 17】。性別による差は見られない【図表 18】。年代を比べると、自然は中高年齢層で多く、食は高齢者で少なくなっている。温泉は年代が上がるほど多くなっている【図表 19】。北海道に行ったことがない人は、ある人に比べて、自然と食が少なくなっている。

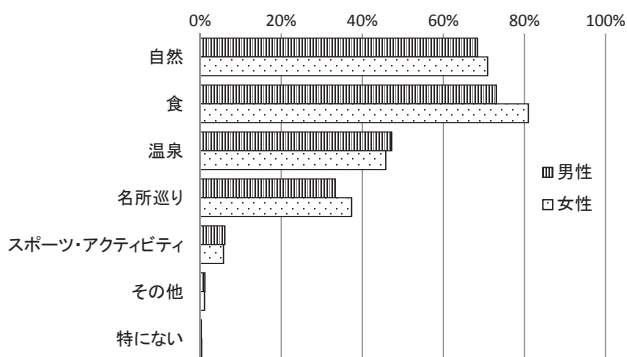
図表 17 北海道旅行に期待するもの

		居住地			合計
		東京 (n=407)	北関東 (n=107)	東北 (n=391)	
北海道旅行に期待するもの	自然	301	73	259	633
	食	337	88	279	704
	温泉	190	45	186	421
	名所巡り	137	34	153	324
	スポーツ・アクティビティ	30	4	19	53
	その他	7	0	3	10
	特になし	1	0	2	3



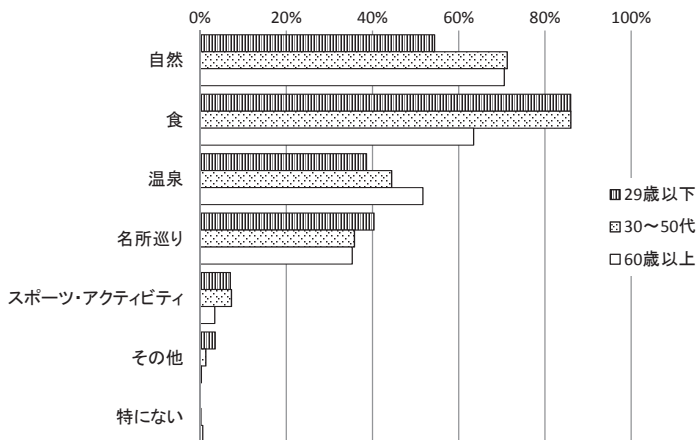
図表 18 北海道旅行に期待するもの (男女別)

		性別		合計
		男性 (n=345)	女性 (n=557)	
北海道旅行 に期待する もの	自然	236	395	631
	食	252	451	703
	温泉	163	255	418
	名所巡り	115	208	323
	スポーツ・アクティビティ	21	32	53
	その他	4	6	10
	特になし	1	2	3



図表 19 北海道旅行に期待するもの (年代別)

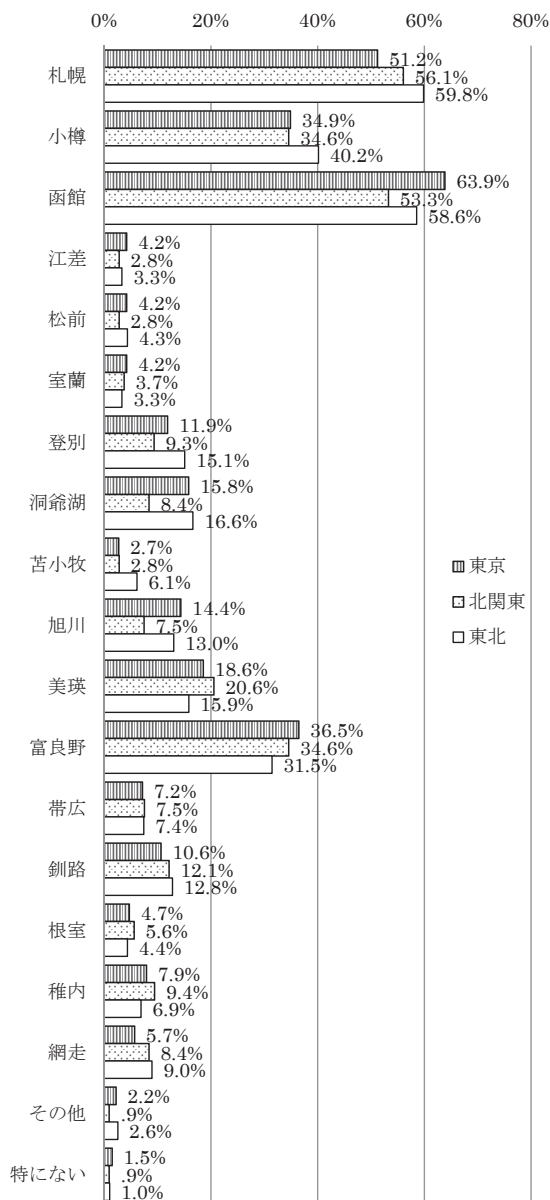
		年代区分			合計
		29歳以下 (n=57)	30～50代 (n=522)	60歳以上 (n=323)	
北海道旅行に期待するもの	自然	31	372	228	631
	食	49	449	205	703
	温泉	22	232	167	421
	名所巡り	23	187	114	324
	スポーツ・アクティビティ	4	38	11	53
	その他	2	7	1	10
	特になし	0	1	2	3



北海道新幹線を利用して行きたいところは、東京は函館が最も多く、札幌、小樽が続く。北関東と東北は札幌が最も多く、函館、小樽が続く【図表20】。富良野は女性で比較的多い【図表21】。年代を比べると、若いほど札幌が多く、小樽は中高年齢層が多い。函館は高齢者で少ない。富良野は年齢が上がるほど多くなる【図表22】。北海道に行ったことがない人は、ある人よりも、札幌が多く、小樽で少なくなっている。

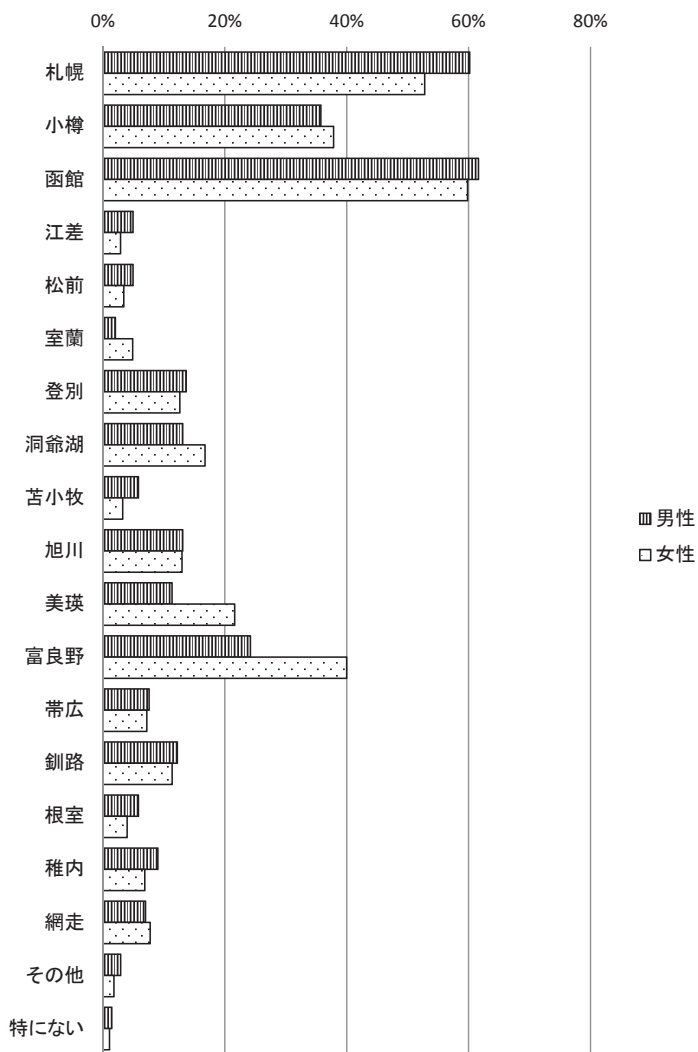
図表20 北海道新幹線で行きたいところ

		居住地			合計
		東京 (n=404)	北関東 (n=107)	東北 (n=391)	
北海道新幹線 を利用して行 きたいところ	札幌	207	60	234	501
	小樽	141	37	157	335
	函館	258	57	229	544
	江差	17	3	13	33
	松前	17	3	17	37
	室蘭	17	4	13	34
	登別	48	10	59	117
	洞爺湖	64	9	65	138
	苫小牧	11	3	24	38
	旭川	58	8	51	117
	美瑛	75	22	62	159
	富良野	147	37	123	307
	帯広	29	8	29	66
	釧路	43	13	50	106
	根室	19	6	17	42
	稚内	32	10	27	69
	網走	23	9	35	67
	その他	9	1	10	20
特にない	6	1	4	11	



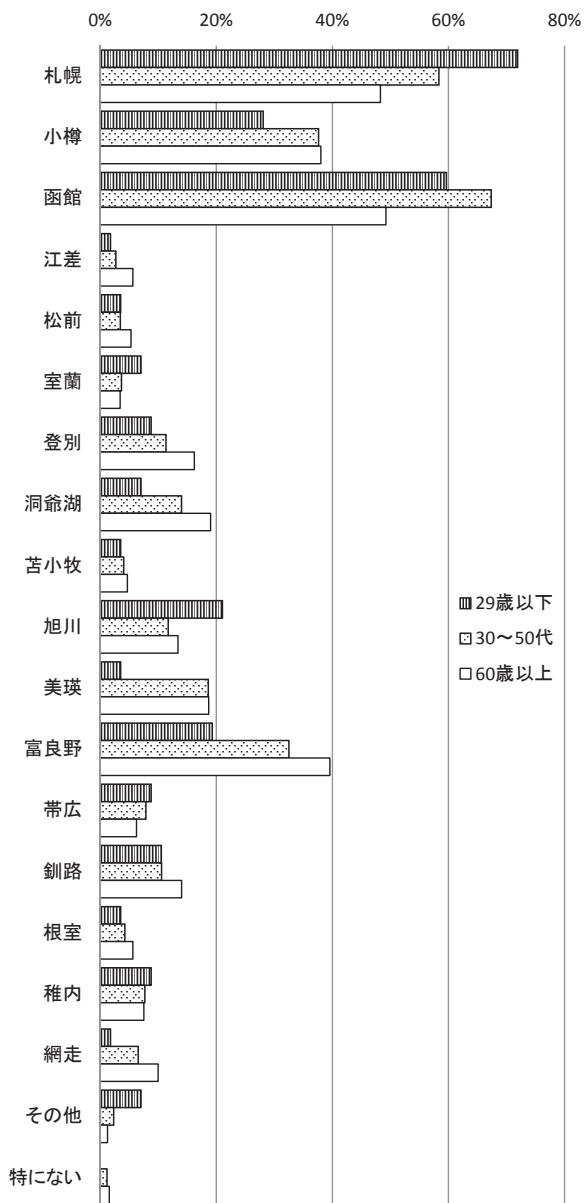
図表21 北海道新幹線で行きたいところ（男女別）

		性別		合計
		男性 (n=344)	女性 (n=555)	
北海道新幹線 で行きたいと ころ	札幌	207	293	500
	小樽	123	210	333
	函館	212	332	544
	江差	17	16	33
	松前	17	19	36
	室蘭	7	27	34
	登別	47	70	117
	洞爺湖	45	93	138
	苫小牧	20	18	38
	旭川	45	72	117
	美瑛	39	120	159
	富良野	83	222	305
	帯広	26	40	66
	釧路	42	63	105
	根室	20	22	42
	稚内	31	38	69
	網走	24	43	67
	その他	10	10	20
特にない	5	6	11	



図表22 北海道新幹線で行きたいところ（年代別）

		年代区分			合計
		29歳以下 (n=57)	30～50代 (n=521)	60歳以上 (n=321)	
北海道新幹線 で行きたいと ころ	札幌	41	304	155	500
	小樽	16	196	122	334
	函館	34	351	158	543
	江差	1	14	18	33
	松前	2	18	17	37
	室蘭	4	19	11	34
	登別	5	59	52	116
	洞爺湖	4	73	61	138
	苫小牧	2	21	15	38
	旭川	12	61	43	116
	美瑛	2	97	60	159
	富良野	11	169	127	307
	帯広	5	41	20	66
	釧路	6	55	45	106
	根室	2	22	18	42
	稚内	5	40	24	69
	網走	1	34	32	67
	その他	4	12	4	20
	特にない	0	6	5	11

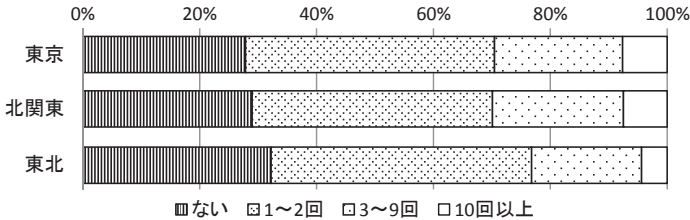


6. 函館への交通手段の変化

これまでに函館に行った回数は、東京、北関東、東北ともに7割が函館に行ったことがあり、4割が1～2回である【図表23】。性別による差は見られない。29歳以下で函館に行ったことがない人が多い【図表24】。

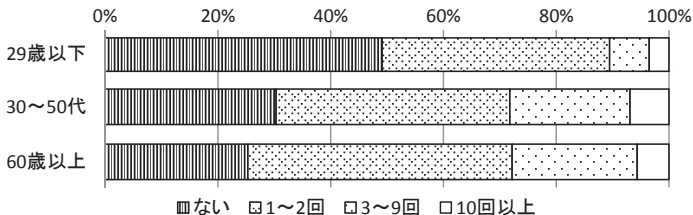
図表23 これまでに函館に行った回数

		居住地			合計
		東京	北関東	東北	
これまでに 函館に行っ た回数	ない	113	31	125	269
	1～2回	173	44	173	390
	3～9回	89	24	73	186
	10回以上	31	8	17	56
合計		406	107	388	901



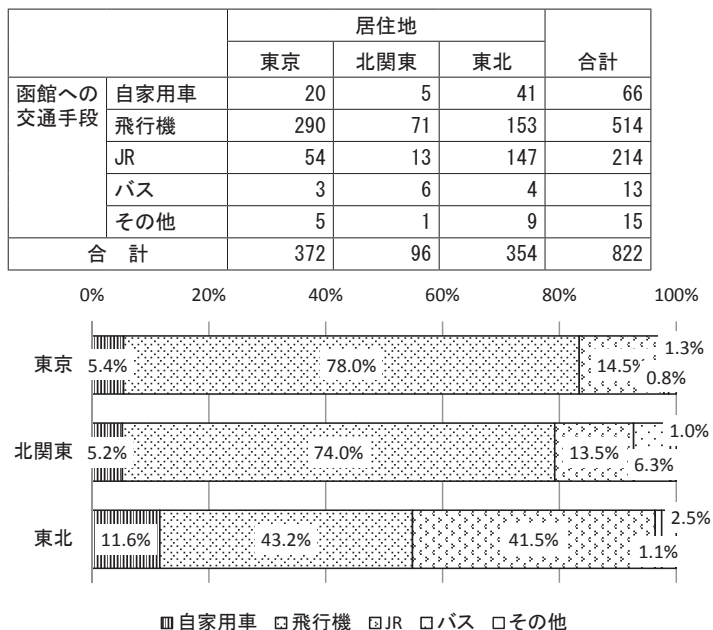
図表24 これまでに函館に行った回数（年代）

		年代区分			合計
		29歳以下	30～50代	60歳以上	
函館に行っ た回数	ない	28	158	81	267
	1～2回	23	216	150	389
	3～9回	4	111	71	186
	10回以上	2	36	18	56
合計		57	521	320	898



函館への主な交通手段を尋ねると、東京は8割、北関東は3／4が飛行機であり、東北は飛行機とJRがそれぞれ4割、一部、自家用車もある【図表25】。東京、北関東、東北のいずれでも、男性でややJRが多い。年代による差は見られない。

図表25 函館への主な交通手段



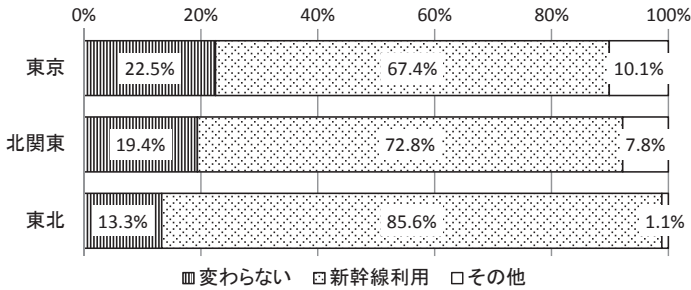
北海道新幹線開業後の交通手段の変化は、東京と北関東は7割、東北は9割近くが「新幹線利用」である【図表26】。居住地別に男女、年代を比べても差は見られない。

「変わらない」理由は、東京と東北は時間と利便性が多く、北関東は時間、利便性に加えて運賃があがっている【図表27】。

「新幹線利用」の理由は、東京で興味と利便性が多く、北関東で興味が深い。東北で利便性と時間が多くなっている【図表28】。

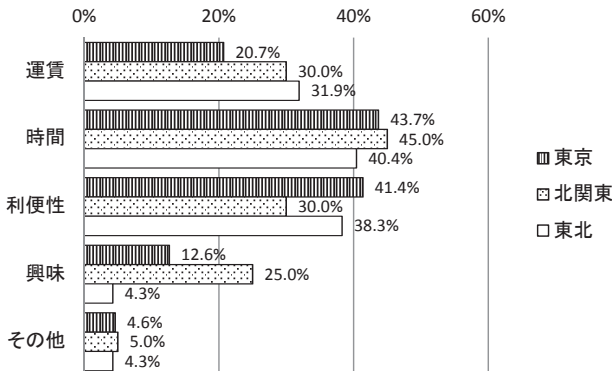
図表26 新幹線開業後の函館への交通手段の変化

		居住地			合計
		東京	北関東	東北	
開業後の交通手段の変化	変わらない	87	20	49	156
	新幹線利用	260	75	315	650
	その他	39	8	4	51
合計		386	103	368	857



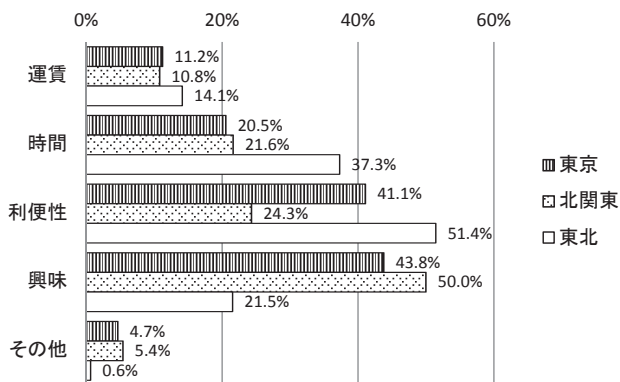
図表27 開業後の交通手段が変わらない理由

		居住地			合計
		東京 (n=87)	北関東 (n=20)	東北 (n=47)	
開業後の交通手段の変化	運賃	18	6	15	39
	時間	38	9	19	66
	利便性	36	6	18	60
	興味	11	5	2	18
	その他	4	1	2	7



図表28 開業後の交通手段が「新幹線利用」になる理由

		居住地			合計
		東京 (n=258)	北関東 (n=74)	東北 (n=311)	
開業後の 交通手段 の変化	運賃	29	8	44	81
	時間	53	16	116	185
	利便性	106	18	160	284
	興味	113	37	67	217
	その他	12	4	2	18



7. まとめ

北海道新幹線開業時期は、東京で3／4、北関東は7割、東北は9割が知っており、よく知られている。

他方で、新函館北斗駅の場所を知っているのは、東京と北関東は1／4、東北で4割であり、あまり知られていない。

北海道新幹線開業後の利用意向は、東京、北関東、東北ともに「利用する予定がある」と「ぜひ利用したい」を合わせると半数を超える。性別、年代による差は見られず、幅広い利用希望がある。今後が期待される。

北海道旅行に期待するものは、いずれも食が多く、自然、温泉、名所巡りが続く。北海道新幹線を利用して行きたいところは函館、札幌、小樽が多い。北海道新幹線開業の当面の終点である新函館北斗駅周辺の旅行が考えられている。

現在の函館への主な交通手段を尋ねると、東京は8割、北関東は3／4が飛行機であり、東北は飛行機とJRがそれぞれ4割であり、自家用車が1割である。

北海道新幹線開業後の交通手段の変化は、東京と北関東の7割、東北の9割近くが「新幹線利用」であった。それぞれの居住地で男女、年代を比べても差は見られない。飛行機等からの乗り換えが進むと考えられる。

「変わらない」理由はいずれも時間と利便性が多い。飛行機から新幹線への乗り換えには、主に東京、北関東において、所用時間がハードルになっているようである。

「新幹線利用」の理由は興味等が多く、北海道新幹線のPRが効果をあげているようである。加えて、東京と東北では利便性があげられており、新幹線駅へのアクセス等が評価されていると考えられる。

東北で時間が「変わらない」理由、合わせて「新幹線利用」の理由の両面からあげられており、個々の居住地の所用時間等によって違いが生じていると考えられる。

文献

- 1) 北海道新幹線開業効果拡大・活用検討会議：『北海道新幹線「新函館（仮称）駅」開業に関するアンケート調査』報告書、2007年
- 2) 北海道新幹線開業はこだて活性化協議会：北海道新幹線開業はこだて活性化アクションプラン、2008年
- 3) 北海道新幹線新函館開業対策推進機構：（埼玉県）大宮駅周辺居住者対象 北海道新幹線新函館（仮称）開業に関するアンケート調査結果、2010年
- 4) 永澤大樹：北海道新幹線の開業に向けた官民連携による函館市の取り組みについて、North East Think Tank of Japan(78)、2012年
- 5) 大橋美幸：北海道新幹線開業前の現況、函館市民及び来街者の意識調査、函大論究 47(1)、2014年
- 6) 大橋美幸：北海道新幹線開業前の現況、函館市民及び来街者の意識調査 第2報 - 並行在来線問題を含めて、函大論究 48(1)、2015年

本研究は科研費（「北海道新幹線開業前後の沿線自治体及び事業者の動向 — 新幹線効果の事例分析」研究代表者 大橋美幸、課題番号 26360072）の助成を受けたものである